

米国 Infection Preventionist による 感染対策最新トピックス

～この数年のCDC、APIC、SHEAなどの学会でのトピックスや学术论文などを受けて、
サンディエゴ大学病院およびAPICサンディエゴ支部関連の病院での実際の感染対策の
変更点などのお話を聞いてみましょう～

日時

2017年7月16日(日) 10:00～16:00 (受付 9:30～)

講師

キム・M・デラハンティ

カリフォルニア大学サンディエゴ校サンディエゴ・ヘルスシステムズ 感染予防臨床疫学部門運営部長

フランク・エドワード・マイヤーズⅢ

カリフォルニア大学サンディエゴ校サンディエゴ・ヘルスシステムズ 感染予防臨床疫学副部長

場所

KRP 京都リサーチパーク (東地区1号館4階 サイエンスホール)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地 TEL:075-322-7800 (裏面地図をご参照ください)

受講対象

医療関連職種であれば資格は問いません。

定員150名 (申込締切: 2017年7月7日 定員になり次第、受付を終了させていただきます)

プログラム (逐次通訳がつきます)

9:30～	受付
10:00～11:00	隔離対策の変更とその効果 MRSAおよびVREを“接触隔離”から外す
11:00～11:10	休憩
11:10～12:10	内視鏡による医療関連感染と現実的な米国の対策 米国の実践現場では何がどう変化したのか
12:10～13:10	昼食
13:10～14:10	CDCが掲げるHAI予防の新戦略の詳細 医療関連感染予防のための予防ターゲットアセスメント戦略 (Targeted Assessment for Prevention (TAP))
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	医療環境からの感染のトピックスとその対応 C・ディフィシルや耐性菌患者の退室後対策
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	CLABSI、CAUTI、VAP、SSI対策の実際 新技術や新概念の動きと効果

質疑応答は、その都度行います

■お申込手続き方法（当日受付での参加は出来ません。下記の手順に従って手続きを行ってください。）

①参加費10,000円/1人（10,000円×人数分一括振込可）の「お振込受領書」を参加申込みFAX用紙に貼付の上、必要事項をご記入後、事務局までFAXしてください。

振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

②FAX受付後、10日以内に参加証名札（テキスト引換番号入り）を郵送させていただきます。

参加証名札（テキスト引換番号入り）は開催当日必ずご持参ください。開催当日にテキストをお渡しします。

お申込後、参加証名札が10日以上経過しても届かない場合は事務局までご連絡ください。

一度お振込みいただきました参加費は、いかなる理由を問わず返却いたしかねますので、ご了承ください。

■お申込み・お問合せ 感染管理セミナー事務局
〒535-0022 大阪市旭区新森5-3-22
E-mail: seminar@mekkin-ken.jp TEL 06-6958-1121 FAX 06-6958-6664

■お振り込み先 銀行名 三井住友銀行 和泉支店（イズミシテン）
口座名 特定非営利活動法人 日本感染管理支援協会
口座番号 普通 1588504

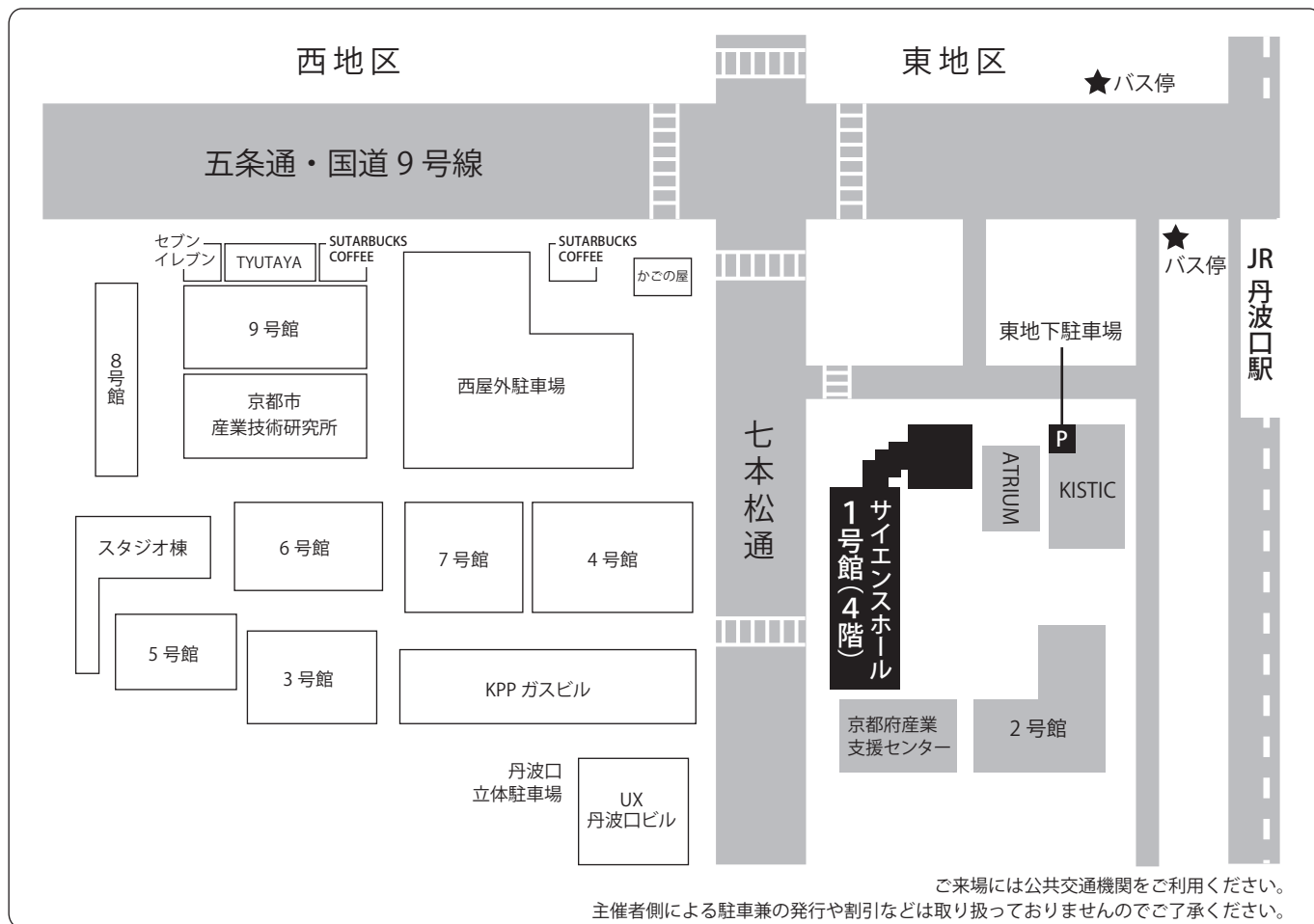
2017年7月16日(日)

米国Infection Preventionistによる感染対策最新トピックス 参加申込書

感染管理セミナー事務局行 **FAX. 06-6958-6664**

施設名 〒 施設住所			お振込受領書 貼付 この枠内または、上記文中のどこでも結構ですので振込後の受領書を貼り付け、コピーしたものをFAXしてください。また、この申込書と振込金受領書の2枚を同時にFAXして頂いても結構です。振込金受領書の添付がない場合は、受付出来ません。
参加代表者のメールアドレス			
TEL		内線	
FAX		参加申込人数 名	
氏名	フリガナ	勤務部署	
参加代表者			
〈備考欄〉			

■会場周辺MAP



■交通のご案内

<p>■京都駅より (JR・近鉄・地下鉄)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JR 嵯峨野線 (山陰線) 丹波口駅下車 西へ徒歩 5分 ●タクシー 約 10分 ●市バス 乗り場 C5 <ul style="list-style-type: none"> 73 系統 「洛西バスターミナル」 行き 75 系統 「映画村・山越」 行き (所要時間約 15分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分 	<ul style="list-style-type: none"> ●京都バス 乗り場 C6 <ul style="list-style-type: none"> 84 系統 「大覚寺・清滝」 行き (所要時間約 15分) 「五条千本」 下車 西へ徒歩 5分 ●京阪京都交通バス 乗り場 C2 <ul style="list-style-type: none"> 21 系統、27 系統 「桂坂中央」 行き (所要時間約 15分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分
<p>■JR・丹波口駅より</p> <ul style="list-style-type: none"> ●西へ徒歩 5分 	<p>■阪急・西院駅より</p> <ul style="list-style-type: none"> ●徒歩 約 20分 ●タクシー 約 10分 ●京都市立病院送迎バス (所要時間約 10分) 「ユニクロ前」 下車 西へ徒歩 5分
<p>■地下鉄・五条駅より</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市バス <ul style="list-style-type: none"> 43 系統 「久世橋東詰」 行き 73 系統 「洛西バスターミナル」 行き (所要時間約 10分) 80 系統 「太秦天神川駅前」 行き (所要時間約 10分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分 ●京都バス <ul style="list-style-type: none"> 84 系統 「大覚寺・清滝」 行き (所要時間約 10分) 「五条千本」 下車 西へ徒歩 5分 ●京阪京都交通バス <ul style="list-style-type: none"> 21 系統、27 系統 「桂坂中央」 行き (所要時間約 10分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分 ●タクシー 約 5分 	<p>■阪急・大宮駅より</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市バス…32 系統 「京都外大前」 行き (所要時間約 5分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分 ●タクシー 約 10分 <p>■京阪・清水五条駅より</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市バス…80 系統 「太秦天神川駅」 行き (所要時間約 5分) 「京都市立病院前」 下車 西へ徒歩 5分 ●タクシー 約 10分 <p>■お車の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「京都南 IC」 または 「京都東 IC」 より 20分

キム・M・デラハンティ (カリフォルニア大学サンディエゴ校サンディエゴ・ヘルスシステムズ 感染予防臨床疫学部門運営部長)

(職歴)	2004年5月 - 現在 2009年1月 - 現在 2000年-2004年4月	カリフォルニア大学サンディエゴ・メディカルセンター感染予防臨床疫学部門運営部長 カリフォルニア大学公開講座感染予防臨床疫学&医療疫学のための感染予防基礎講座開発担当講師 サンディエゴ在カイザー・パーマネント・メディカルセンター (397床) & 外来ケア (13メディカルオフィス棟) 感染管理 プラクティショナー地域マネジャー カイザーサンディエゴの感染管理プログラムの策定、実施、管理を担当
	1999年-2000年	カイザー・パーマネント・メディカルセンター、カリフォルニア公衆衛生ナース、注入スペシャリスト ノース郡の注入療法プログラムの策定と維持を担当
	1998年-1999年	患者、医師、薬剤師、病院スタッフと郡の保健省との連絡窓口として機能、JCAHO査察への協力 サンディエゴ在コラムヘルスケア公衆衛生ナース、注入スペシャリスト
	1996年-1998年	在宅注入患者のケースマネジャー 患者、医師、薬剤師、病院スタッフと郡の保健省との連絡窓口として機能、JCAHO査察への協力 ヴィスタ在オプションケア・インク (営利目的の小規模在学注入サービス会社)、公衆衛生ナース、看護ディレクター 同社の看護プログラムの管理と策定ならびにスタッフの管理と開発担当
	1994年-1996年	患者、医師、薬剤師、病院スタッフと郡の保健省との連絡窓口として機能、JCAHO査察への協力 ブリファード・ホームヘルス・エスコンティド公衆衛生ナース、注入スペシャリスト 在宅注入患者のケースマネジャー 患者、医師、薬剤師、病院スタッフと郡の保健省との連絡窓口として機能、JCAHO査察への協力
(学歴)	1999年11月 1997年11月 1992年5月	カリフォルニア州サンディエゴ在フェニックス大学卒業 経営管理と医療管理の修士号取得 カリフォルニア州サンディエゴ在フェニックス大学 公衆衛生看護学で学士号取得 ・ペンシルバニア州ピッツバーグ在アレゲニー郡コミュニティカレッジ卒業 ・看護学準学士号取得 - 正規看護師 登録
(軍経歴)	3/1984-3/1990	合衆国海軍衛生下士官 (デザートストーム作戦)
(免許・認定)		・正規看護師 (RN) ・公衆衛生看護師 (PHN) ・注入看護師 ・定感染管理プラクティショナー (CBIC) 2003, 2008, 2013 BCLS ・感染管理疫学専門家協会 (APIC) ・カリフォルニアAPICコーディネーション委員会前委員長 (2007年)
(所属団体)		・予防接種タスクフォース: カイザー・パーマネント: サンディエゴ ・意図せぬ妊娠タスクフォース: カイザー・パーマネント: サンディエゴ ・HIV タスクフォース: カイザー・パーマネント: サンディエゴ ・サンディエゴ肝炎コミュニティ連合 ・生物テロタスクフォース ・CJD タスクフォース ・2003年査察、ジョイントコミッション感染管理連絡窓口 ・全米スタンダードとソーシングチーム ・新人ICPのためのメンタリング・タスクフォース ・BBP/TB 暴露制御計画タスクフォース ・2006年-2007年、カリフォルニア保健省HAI削減のための諮問作業班共同班長 ・2006年、CLABSI報告標準化のためのNQF TAPメンバー ・カリフォルニア大学サンディエゴ校リーダーシップ開発タスクフォース ・2007年-2008年、カリフォルニアにおけるSB 739 実施のためのCDPH HAI AWG会長 ・2009年-2012年、CDPH HAI AC会、4/12辞職 ・感染予防戦略関連会議会イニシアチブのための企業連合カリフォルニア大学オフィスに参加 ・2008年、2009年、2010年、2011年、2012年、2013年、2014年、2015年、2016年 ・C3IC、2014年からメンバー
(作業班)		・ヘモフィルスインフルエンザワクチンのコスト上昇、HIV管理・予防・治療、ウイルス性肝炎予防と治療に関する州および連邦議会へのコンサルタント ・サンディエゴ同性愛者コミュニティコンサルタント ・3M 感染管理ナース教育担当コンサルタント ・ホームヘルス連絡窓口コンサルタント ・耐性菌撲滅のためのサンディエゴGERM 委員会 ・コスト削減と保険報酬ダウンの時代におけるCRBSIの低減に関するウェビナー- 9.08 ・エチコン・スピーカー・ビューロー ・2009年感染管理紳士録 ・在宅環境におけるCLABSI予防に関するウェビナー-2011年 ・全米APIC 2012年感染予防ヒーロー ・カリフォルニア大学公開講座感染予防臨床疫学の基礎講師・共同開発 ・2015年-2017年、全米APIC 理事
(コンサルテーション)		

フランク・エドワード・マイヤーズⅢ (カリフォルニア大学サンディエゴ校サンディエゴ・ヘルスシステムズ 感染予防臨床疫学副部長)

(職歴)	2016年10月-現在	感染予防臨床疫学副部長 ・部門内NHSN エキスパート ・部門内内視鏡エキスパート ・AAMI/SHRAE スタンダードエキスパート
	2012年7月-2016年9月	感染予防師Ⅲ カリフォルニア大学サンディエゴ校ヘルスシステムズ ・部門内CLABSI リソース ・公認エボラ治療センターでエボラ用PPE着脱ガイドラインを策定 ・感染予防部門エキスパートリソース ・SSI外れ値調査分析ツールキット開発
	2006年-2012年7月	臨床疫学・安全システムディレクター スクリスプ・マーシー病院 ・両キャンパスにて感染管理と安全の取り組みを指導 ・サンディエゴキャンパスの安全委員会委員長 ・屋内空気質に関する懸念への対応の標準化取り組みリーダー
	2004年-2006年	臨床疫学・安全システムマネジャー スクリスプ・マーシー病院 ・施設の感染管理と安全介入を指導 ・ケア環境と感染管理におけるJCAHO遵守の取り組みの指導責任者 ・スクリプス全体の製品標準化委員会メンバー、1995年-2006年 ・統計関連についての病院リソース ・院内感染アウトブレイクと有害患者アウトカムデータのデータ解析
	1994年-2004年	疫学専門家 サンディエゴ在マーシー病院/スクリプスヘルス ・サンディエゴ郡における最大急性期ケア施設での感染管理の取り組みを指導 ・継続改善講座講師 ・感染管理ポリシーの見直しと策定の責任者 ・感染管理問題に関する病院スタッフと本社スタッフの教育担当責任者 ・スクリプス単回使用物品の再使用委員会委員長、1998年-2002年
	1992年-1994年	AIDSサーベイランスオフィサー デラウェア州 ・同州における唯一のAIDS症例データベースの管理 ・疫学傾向についてのデータベース解析 ・同州のHIV/AIDS 血清調査助成金の血清調査部分の著作
	1989年-1992年	HIV血清陽性率統計担当者 デラウェア州ウィルミントン ・同州のHIV血清陽性データベースの作成 ・同州のHIV血清陽性データ管理プロトコル策定 ・100症例以上のHIVカウンセリングと試験を実施 ・HIV血清陽性データが医療教育資料に含まれるように簡素化 ・コンピュータ言語PRODASにおけるサブルーチンのプログラミング デラウェア州ニューアーク在デラウェア大学政治科学修士号取得
(学歴)	1988年 1986年	行政学包括試験、ペンシルバニア州ピッツバーグ在ピッツバーグ大学で政治科学学士号取得
(認定)	1998年	認定感染管理師 (CIC) (再認定2003年、2008年、2013年)
(その他活動)		<ul style="list-style-type: none"> ・“ジョイントコミッション指針: オペ室と中材におけるHVAC (暖房換気空調) 2015年9月21日” 共著 ・AAMI スタンダードグループメンバー: ST91, ST79 ・CSTE/CDC 抗菌薬耐性サーベイランスタスクフォースミーティングメンバー (2017年3月) ・“Meet the Expert” APIC カンファレンス、2013年、2014年 ・APIC AAMI 連絡窓口担当、2012年-2015年 ・全米APIC外来手術センターセミナー講師、2012年-現在 ・全米APIC疫学セミナー、2017年 ・Youtubeの“NHSNサーベイランスと0 HAI”作成、CDCによるNHSNトレーニングで使用される ・米国医療刊行物編集者協会、“ベスト特別版、ブロンズ”受賞、2016年 ・米国医療刊行物編集者協会、“ベスト・ハワツウ記事、ブロンズ”受賞、2011年 ・<i>Infection Control Today</i> 誌2009年最優秀感染管理教育者受賞、2003年次席 ・カリフォルニア保健省医療関連感染諮問委員会メンバー、2007年-2012年 ・カリフォルニア保健省医療関連感染グループメンバー・著者 (全体と血流感染グループ)、2005年-2006年 ・サンディエゴ郡耐性菌撲滅医療グループメンバー (GERM 委員会) ・全米APIC優秀支部リーダー賞受賞、2005年 ・カリフォルニア州APIC コーディネーション委員会委員長、2004年 ・カリフォルニア州APIC コーディネーション委員会、政府関連事項諮問パネルメンバー、2005年-現在 ・現会員- APIC (1994年以降)、SHEA (2004年以降)、国際感染症学会 (2009年)、カリフォルニア州感染症学会 (IDAC) (2010年以降)、医療器具開発協会 (AAMI) (2012年以降) ・<i>Nursing</i> 誌編集委員会 (2006年-現在) ・全米APICパブリックポリシー諮問委員会2009年-2011年、プラクティス指針委員会2013年-現在 ・<i>American Journal of Infection Control</i> 誌、<i>Nursing Made Incredibly Easy</i> 誌、<i>Nursing</i> 誌、<i>Nurse Practitioner</i> 誌、<i>RN magazine</i> 誌、<i>Journal of Wound Ostomy & Continence Nursing</i> 誌 査読担当 ・APICサンディエゴ・インベリアル郡支部、次期支部長2000年 & 2011年、支部長2001年 & 2012年、書記官1997年、無任所会員1999年 ・マーシー・スタイル・オブ・ケア賞受賞1997年、マーシー病院行動哲学賞ノミネーション 1996年&1997年、スクリプス行動バリュー賞ノミネーション 2005年 ・今月の優秀職員、1993年1月 ・州サービスにおける秀逸とコミットメント賞をデラウェア州から受賞、1992年4月 ・公衆衛生部門今四半期優秀職員ノミネーション、1992年第二四半期 ・エリザベス・フォワード同窓生殿堂入り、2010年